

令和6年度 協働提案事業選考結果報告書

令和6年10月

小牧市健康生きがい支え合い推進部支え合い協働推進課

目 次

1. 協働提案事業化制度の概要

- (1) 制度の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- (2) 各提案タイプの状況
 - 市民提案型 “きらめき” ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
 - 行政提案型 “はばたき” ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

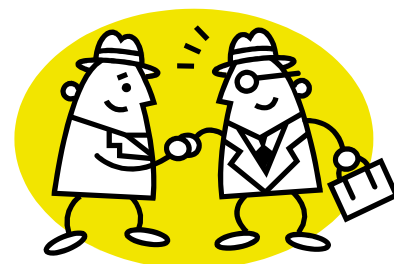
2. 提案事業の選考について

- (1) 選考の流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- (2) 各提案タイプの選考状況
 - 市民提案型 “きらめき” ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
 - 行政提案型 “はばたき” ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

1. 協働提案事業化制度の概要

(1) 制度の目的

市民（市民活動団体）と行政それぞれが、協働で取り組むべき地域課題等を提案し、解決に向けて取り組むことにより、小牧市を「市民が輝く活気あふれるまち」とすることを目的とする。



(2) 各提案タイプの状況

市民提案型 “きらめき”

【内 容】

市民(市民活動団体)から行政へ協働事業を提案するタイプ

【応募資格】

- 1) 小牧市市民活動推進条例に基づく「市民活動団体」として登録している団体で、『まちを育む 市民と行政の協働ルールブック』に定める事項を遵守できる団体

《市民活動団体の条件》

1. 市民活動を行うことを目的とした団体であること
2. 3人以上の会員を有していること
3. 主に市内で活動している、または活動の拠点が市内であること
4. 代表者や運営方法が、定款、規約、会則等で決まっていること

- 2) 原則として、団体としての活動実績が1年以上ある団体
- 3) 提案事業の契約を有効に締結できる団体

行政提案型 “はばたき”

【内 容】

行政から市民(市民活動団体)へ協働事業を提案するタイプ

【応募資格】 ※行政提案事業に対する応募団体

- 1) 小牧市市民活動推進条例に基づく「市民活動団体」として登録している団体で、『まちを育む 市民と行政の協働ルールブック』に定める事項を遵守できる団体

《市民活動団体の条件》

1. 市民活動を行うことを目的とした団体であること
2. 3人以上の会員を有していること
3. 主に市内で活動している、または活動の拠点が市内であること
4. 代表者や運営方法が、定款、規約、会則等で決まっていること

- 2) 原則として、団体としての活動実績が1年以上ある団体
- 3) 提案事業の契約を有効に締結できる団体

2. 提案事業の選考について

(1) 選考の流れ

【ヒアリング】

○令和6度実施協働提案事業ヒアリング

《実 施 日》令和6年7月20日（土）

【一次選考】

○協働のまちづくり実務者会議

《選 考 日》令和6年8月8日（木）第4回協働のまちづくり実務者会議

○小牧市市民活動促進委員会

《選 考 日》令和6年8月22日（木）第5回小牧市市民活動促進委員会

※小牧市市民活動促進委員会

委員長：秦野利基（（特非）こまき市民活動ネットワーク 顧問）

副委員長：三島 知斗世（（特非）ボランタリーネイバース 副理事長、調査研究部長）

委員：戸成司朗（（一社）中部SDGs推進センター 代表理事、（特非）中部プロボノセンター 顧問）

委員：星野博（（特非）志民連いちのみや 理事長）

委員：竹中烈（愛知文教大学 准教授）

委員：伊藤かおり（住友理工株式会社CSR推進室 担当次長）

委員：西村文雄（ボランティアセンター運営委員会）

委員：鈴木佳世（ウィメンズネットこまき 代表）

委員：浅井結（公募委員）

委員：増子ひと美（公募委員）

【二次選考】

○協働提案事業選考委員会

《選 考 日》令和6年9月30日（月）

(2) 各提案タイプの選考状況

①市民提案型 “きらめき”

《選考要領》

【一次選考】協働のまちづくり実務者会議、小牧市市民活動促進委員会

協働のまちづくり実務者会議各検討グループ、小牧市市民活動促進委員会委員により、下記選考項目について採点基準を用いて採点を行った。

《選考項目》

	項 目	内 容	補正值
1	必要性	実施する価値はあるか。市民ニーズに沿っている事業か	×2 点
2	公益性	公益的な事業であるか	×1.5 点
3	協働性	協働することで、より一層の効果が期待できる事業か	×1 点
4	効果性	第三者に対する具体的な効果や成果が期待できる事業か	×1 点
5	展望性	事業のビジョン(到達目標)が明確にされているか	×0.5 点
6	適正性	予算の見積もりは妥当か	×0.5 点
7	実行性	実行可能なスケジュールや事業内容か	×0.5 点

《採点基準》

点 数	評 価
5点	優れている
4点	やや優れている
3点	普通
2点	やや劣っている
1点	劣っている

①事務局で作成した採点集計表を提出し、採点結果の確認を行った。

②採点結果の確定、コメントの整理を行った。

※協働のまちづくり実務者会議と小牧市市民活動促進委員会の採点の結果、得点率がいずれも60%未満の事業は、一次選考で不採択とし、それ以外の事業は、一次選考通過とする。

【二次選考】協働提案事業選考委員会

一次選考の内容を踏まえ、事業の採択について協議した。

《選考結果》※得点率については、小数点第2位切捨て

No.1	提案事業名：防災・減災教育支援事業							
提案団体名	小牧防災リーダー会							
事業概要	①行政の行う自主防災会、地域協議会などへの防災教育の支援を協働事業として行う。 避難所運営ゲーム、災害図上訓練、家具転倒防止講座などにより、行動力向上につながる防災・減災教育を行う。 ②小中学校が行う防災教育の支援を協働事業として行う。総務省消防庁作成の防災教材「チャレンジ防災 48」を活用した、災害時における身の安全確保につながる防災・減災教育を行う。							
協働のまちづくり実務者会議								
各項目の点数及び得点率	必要性	公益性	協働性	効果性	展望性	適正性	実行性	合計
	76/100	52.5/75	37/50	32/50	16/25	15/25	16/25	244.5/350
	76.0%	70.0%	74.0%	64.0%	64.0%	60.0%	64.0%	69.8%
コメント	・多様な受講対象のニーズを把握し、講座内容をさらに工夫して進めてください。 ・事業の継続のため、人材育成・人材確保にも努めてください。 ・防災・減災に対する意識の醸成のため、啓発を続けてください。							
小牧市市民活動促進委員会								
各項目の点数及び得点率	必要性	公益性	協働性	効果性	展望性	適正性	実行性	合計
	72/80	54/60	32/40	32/40	14/20	12.5/20	14.5/20	231/280
	90.0%	90.0%	80.0%	80.0%	70.0%	62.5%	72.5%	82.5%
コメント	・企業を対象とするなど対象者・参加者を増やし、防災へ意識を向けるきっかけづくりとする横方向の展開と、防災意識やスキルを高め（深め）、実際の避難所運営や災害弱者支援へつなげていく縦方向への展開を意識して事業に取り組んでください。 ・過去の実施回数が予定より大幅に超過する傾向にあることから、団体の負担増も考慮し、費用負担の在り方についても協議してください。 ・若いスタッフが育ち、提案団体が地域の防災力の強化に向けて一層力を発揮されることを期待します。							
二次選考結果（協働提案事業選考委員会）								
結果	採択【協働する部署：防災危機管理課】							

No.2	提案事業名：投票支援の見える化プロジェクト
提案団体名	小牧市障害者団体連絡会
事業概要	見えにくい、聞こえにくい、動きづらい、わかりづらいなどの障害特性のある人への投票支援は、高齢者への支援と共通で、これらの方々への投票支援を見える化することで、みんなの投票行動を動かそうとするプロジェクト
協働のまちづくり実務者会議	

	必要性	公益性	協働性	効果性	展望性	適正性	実行性	合計
各項目の点数 及び得点率	60/100 60.0%	48/75 64.0%	32/50 64.0%	25/50 50.0%	14.5/25 58.0%	12/25 48.0%	14/25 56.0%	205.5 /350 58.7%
コメント	- 職員に対する研修については、選挙事務従事者の変更や派遣職員の存在などを考慮し、動画を活用するなど効果的な方法を検討してください。併せて印刷製本費の在り方についても検討してください。 - 事業内容については、公職選挙法や総務省ガイドラインなどを十分に考慮し、両者で改めて協議、精査して進めてください。 - 障がいには様々な種類や等級があるが、幅広い意見を取り入れた事業とすることが望ましいと考えます。提案団体は当事者団体としての立場に留まらず、障がい当事者と市とのパイプ役として、調整を行いながら進めてください。							
小牧市市民活動促進委員会								
	必要性	公益性	協働性	効果性	展望性	適正性	実行性	合計
各項目の点数 及び得点率	70/80 87.5%	49.5/60 82.5%	31/40 77.5%	27/40 67.5%	14.5/20 72.5%	12/20 60.0%	13/20 65.0%	217 /280 77.5%
コメント	- 障害の内容は多岐にわたり、その支援への意見も多種多様なものとなることが予想される。提案団体にはその調整・ファシリテートを期待するが、対象・手法の設定などについて丁寧な対話を行い、社会福祉協議会や福祉部局とも意見交換を行いながら、事業を進めてください。 - 実施方法等を詰めきれていない部分が多いため、よく協議して目的を達成できるように進めてください。 - 時間のかかる取り組みだとは思いますが、提案団体と選挙管理委員会事務局のみの協働に留まらず、庁内他部署や、様々な市民団体、当事者の協力を得ながら、より多くの障がい者の投票行動を促すためがんばってください。							
二次選考結果（協働提案事業選考委員会）								
結果	採択【協働する部署：選挙管理委員会事務局】 ※ただし、小牧市ペーパーレス推進方針に基づき、作成したマニュアルなどの印刷については可能な限りデジタル媒体とすることとし、配布対象に応じた必要最小限の印刷部数とすること。							

②行政提案型 “はばたき”

《選考要領》

【一次選考】協働のまちづくり実務者会議、小牧市市民活動促進委員会

協働のまちづくり実務者会議各検討グループ、小牧市市民活動促進委員会委員により、下記選考項目について採点基準を用いて採点を行った。

《選考項目》

	項 目	内 容
1	必要性	実施する価値はあるか。市民ニーズに沿っている事業か。
2	妥当性	団体(市民)の特性が活かされるような事業内容や実施方法か。
3	協働性	役割分担が明確であるか、また、協働することで、より一層の効果が期待できる事業か。
4	効果性	第三者に対する具体的な効果や成果が期待できる事業か。
5	展望性	事業のビジョン(到達目標)が明確にされているか。
6	実行性	実行可能なスケジュールや事業内容か。
7	実現性	団体には事業を遂行する能力があると認められるか。

《採点基準》

点 数	評 価
5点	優れている
4点	やや優れている
3点	普通
2点	やや劣っている
1点	劣っている

①事務局で作成した採点集計表を提出し、採点結果の確認を行った。

②採点結果の確定、コメントの整理を行った。

※協働のまちづくり実務者会議と小牧市市民活動促進委員会の採点の結果、得点率がいずれも60%未満の事業は、一次選考で不採択とし、それ以外の事業は、一次選考通過とする。

【二次選考】協働提案事業選考委員会

一次選考の内容を踏まえ、事業の採択について協議した。

《選考結果》※得点率については、小数点第2位切捨て

No.1	提案事業名：救命講習指導協力事業							
提案課	消防署							
応募団体名	小牧災害ボランティアネットの会／小牧防災リーダー会							
事業概要	応急手当（AEDの使用と心肺蘇生）を市民に普及させるため、消防署は例年 150 回程度の救命講習を開催しており、市民活動団体に指導者として参加協力していただくことによって、受講者の希望日時に講習を開催することができ、応急手当を身に付けた市民を増やすことで救命率の向上を期待するもの							
協働のまちづくり実務者会議								
各項目の点数及び得点率	必要性	妥当性	協働性	効果性	展望性	実行性	実現性	合計
	41/50 82.0%	35/50 70.0%	38/50 76.0%	37/50 74.0%	32/50 64.0%	31/50 62.0%	33/50 66.0%	247/350 70.5%
コメント	- 多くの市民が受講し救命活動の技能を持つことは、応急処置の実施率および救命率の向上に寄与し、非常に重要な事業だと考えます。 - 若い世代にも周知して多くの市民に受講してもらえるよう工夫してください。 - 指導員研修・フォローアップ研修などを通じて指導員を増やし、担い手の確保に努めてください。 - 消防職員の負担軽減につながる事業でもあり、維持継続していただきたいです。							
小牧市市民活動促進委員会								
各項目の点数及び得点率	必要性	妥当性	協働性	効果性	展望性	実行性	実現性	合計
	35/40 87.5%	34/40 85.0%	35/40 87.5%	32/40 80.0%	27/40 67.5%	30/40 75.0%	32/40 80.0%	225/280 80.3%
コメント	- いついかなる時も誰もが応急手当を実施できることを目指し、どこの誰を対象に普及啓発を進めるかなど、両方で協議して戦略的に事業を展開されることを期待します。 - 講座対象者の拡大に併せて、受講された方への反復講習や救命事例の情報交換の機会を提供するなど、受講者のスキルの維持・向上にも努めてください。 - 企業や学校（高校・大学）などに働きかけ、若い方に資格を取得してもらうなど、指導員を増やす取組みに努めてください。 - 安全な市民生活を支える重要な事業だと考えます。協働で継続していきましょう。							
二次選考結果（協働提案事業選考委員会）								
結果	採択【協働する部署：消防署】							

No.2	提案事業名：貸出し用草刈り機の整備（消防署東支署）							
提案課	消防総務課							
応募団体名	愛林会							
事業概要	小牧市では市内の空き地に繁茂した雑草を除去される方に、草刈機の無償貸出しを行っている。その貸出し事業のうち、返却後の機器の整備について、農業用機械等の取							

	り扱いに熟練した市民活動団体に加わっていただくことで、より機器性能を向上させることができるとともに、整備不良等による事故の発生リスク軽減を図り、市民等に安全・安心な事業を提供できることとなる。							
協働のまちづくり実務者会議								
各項目の点数及び得点率	必要性	妥当性	協働性	効果性	展望性	実行性	実現性	合計
	31/50	34/50	34/50	34/50	29/50	31/50	33/50	226/350
	62.0%	68.0%	68.0%	68.0%	58.0%	62.0%	66.0%	64.5%
コメント	・消防職員の負担軽減につながる事業であり、継続していただきたいです。 ・草刈機を貸し出す際にも、団体の知識やスキルを活かし、使用上の注意点などの説明をしていただけるとよいのではないかと思います。 ・安定的な事業実施に向けて、実施可能な団体との連携や技術の継承ができるよう対策を検討してください。							
小牧市市民活動促進委員会								
各項目の点数及び得点率	必要性	妥当性	協働性	効果性	展望性	実行性	実現性	合計
	31/40	32/40	32/40	29/40	26/40	28/40	30/40	208/280
	77.5%	80.0%	80.0%	72.5%	65.0%	70.0%	75.0%	74.2%
コメント	・草刈機整備を協働で実施してもらうことで消防職員が他の業務に専念することができ、非常に高い効果がある事業だと考えます。団体の負担も考慮しながら事業を継続されることを期待します。 ・庁内の他部署や他の団体と連携するなどしてこの事業の意義・効果を企業や学校など広く知ってもらい、団体の会員確保や新しい協働相手の発掘につなげるなど、事業の継続のため次の担い手の育成も検討してください。							
二次選考結果（協働提案事業選考委員会）								
結果	採択【協働する部署：消防総務課】							

No.3	提案事業名：市民参加による広報作成事業							
提案課	広報広聴課							
応募団体名	（特非）こまき e-コミュニティーネットワーク							
事業概要	広報こまきの紙面作成や市民への効果的なPRを市民とともに行うことで、市民にとって身近で魅力ある記事を掲載するとともに、広報こまきのPR 動画を作成し、配信する。							
協働のまちづくり実務者会議								
各項目の点数及び得点率	必要性	妥当性	協働性	効果性	展望性	実行性	実現性	合計
	32/50	33/50	34/50	29/50	29/50	31/50	33/50	221/350
	64.0%	66.0%	68.0%	58.0%	58.0%	62.0%	66.0%	63.1%
コメント	・市民レポーターの記事作成・PR動画の作成など、市民により身近な広報となっている。引き続き、市民目線の視点で魅力ある広報紙作りに努めてください。 ・本事業だけで広報の閲覧率を伸ばすのは困難かと考えますが、事業の目的を再認識し、取り組む事業内容の成果を判断するための適切な成果指標の検討が必要と考えます。 ・費用対効果を検証し、より効果的な事業となることを期待します。							
小牧市市民活動促進委員会								
	必要性	妥当性	協働性	効果性	展望性	実行性	実現性	合計

各項目の点数 及び得点率	27/35 77.1%	26/35 74.2%	30/35 85.7%	24/35 68.5%	26/35 74.2%	24/35 68.5%	25/35 71.4%	182/245 74.2%
コメント	・市民目線での広報や、愛着を生むという点の質的な変化は生まれていると考えられるが、広報を見てもらえているという実績を直接本事業の効果として結びつけることは難しい。アンケート等を活用して本事業固有の効果測る方法も検討しながら進めてください。 ・何年も同じ人が作成に関わり続けると必ずマンネリ化してしまうので、より多くの市民が誌面づくりに関わられるような取り組みを期待します。 ・今後も年齢・性別・職種を越えた様々な市民の視点を取り入れ、より身近で読みやすいコンテンツを加えることを検討するなどして広報を作ってください。							
二次選考結果（協働提案事業選考委員会）								
結果	採択【協働する部署：広報広聴課】							

No.4	提案事業名：生ごみを使った EM ぼかしづくり講座実施事業							
提案課	リサイクルプラザ							
応募団体名	ちごりんの里山							
事業概要	生ごみをもとにEM菌を使ったぼかし（油かすや米ぬかなど有機肥料に、EM菌を混ぜ、発酵させて作る肥料）作り講座を実施し、家庭から出る生ごみを基に環境サイクルを回し、環境負荷の低減を目指す。							
協働のまちづくり実務者会議								
各項目の点数及び得点率	必要性	妥当性	協働性	効果性	展望性	実行性	実現性	合計
	30/50	33/50	33/50	30/50	27/50	31/50	31/50	215/350
	60.0%	66.0%	66.0%	60.0%	54.0%	62.0%	62.0%	61.4%
コメント	・講座の動画配信など環境意識の高い層に留まらず、より幅広い層に伝わるよう事業をPRするための方策について検討してください。 ・単なる生ごみのリサイクルのための講座に留まらず、ごみの削減から環境負荷の軽減など環境問題への関心が高まっていくことを期待します。 ・里山遊びなど団体が取り組む環境事業と関連づけることにより「EMぼかしづくり」が自然の循環につながっていることを実感できるような講座となることを期待します。							
小牧市市民活動促進委員会								
各項目の点数及び得点率	必要性	妥当性	協働性	効果性	展望性	実行性	実現性	合計
	29/40	31/40	31/40	26/40	26/40	25/40	29/40	197/280
	72.5%	77.5%	77.5%	65.0%	65.0%	62.5%	72.5%	70.3%
コメント	・本事業は、生涯学習的な要素から、ごみ減量、堆肥の活用など環境リサイクルへの波及効果が見込まれる事業であり、事業の定着、長期継続実施のため、工夫しながら事業を実施されることを期待します。 ・ぼかし（堆肥）を作るだけでなく、作られたものの活用についても提案や意見交換する機会を作るなどの事業の拡がりを期待します。 ・ぼかし作りの認知度を高めながら、団体の特性を発揮して参加者を募集するなど、よりよい事業にしていってください。							
二次選考結果（協働提案事業選考委員会）								

結果	採択【協働する部署：リサイクルプラザ】
----	---------------------

No.5	提案事業名：生ごみを使ったEM ぼかしづくり講座実施事業							
提案課	リサイクルプラザ							
応募団体名	小牧市女性の会							
事業概要	生ごみをもとにEM菌を使ったぼかし（油かすや米ぬかなど有機肥料に、EM菌を混ぜ、発酵させて作る肥料）作り講座を実施し、家庭から出る生ごみを基に環境サイクルを回し、環境負荷の低減を目指す。							
協働のまちづくり実務者会議								
各項目の点数及び得点率	必要性	妥当性	協働性	効果性	展望性	実行性	実現性	合計
	30/50	36/50	32/50	30/50	28/50	31/50	32/50	219/350
	60.0%	72.0%	64.0%	60.0%	56.0%	62.0%	64.0%	62.5%
コメント	・講座の動画配信など環境意識の高い層に留まらず、より幅広い層に伝わるよう事業をPRするための方策について検討してください。 ・これまで団体が実施してきた様々な環境活動での経験を活かして事業展開することにより、単なる生ごみのリサイクルのための講座に留まらず、ごみの削減から環境負荷の軽減など環境問題への関心が高まっていくことを期待します。							
小牧市市民活動促進委員会								
各項目の点数及び得点率	必要性	妥当性	協働性	効果性	展望性	実行性	実現性	合計
	29/40	33/40	31/40	26/40	26/40	26/40	33/40	204/280
	72.5%	82.5%	77.5%	65.0%	65.0%	65.0%	82.5%	72.8%
コメント	・本事業は、生涯学習的な要素から、ごみ減量、堆肥の活用など環境リサイクルへの波及効果が見込まれる事業であり、事業の定着、長期継続実施のため、工夫しながら事業を実施されることを期待します。 ・団体の特性を活かし、生ごみの削減の面からも環境づくりについて市民に浸透するとよいと思います。 ・団体の長年の経験を活かしてオリジナリティのある活動になることを期待します。 ・事業開始までの期間、提案課と2団体とでコミュニケーションを深め、様々な手法に挑戦する姿勢を持って事業展開されることを望みます。							
二次選考結果（協働提案事業選考委員会）								
結果	採択【協働する部署：リサイクルプラザ】							

【行政提案に対して応募のなかった事業（1事業）】

	提案事業名：貸出し用草刈り機の整備（消防本部）
提案課名	消防総務課
事業概要	小牧市では市内の空き地に繁茂した雑草を除去される方に、草刈機の無償貸出しを行っている。その貸出し事業のうち、返却後の機器の整備について、農業用機械等の取り扱いに熟練した市民活動団体に加わっていただくことで、より機器性能を向上させることができるとともに、整備不良等による事故の発生リスク軽減を図り、市民等に安全・安心な事業を提供できることとなる。